

商工会青年部活動報告

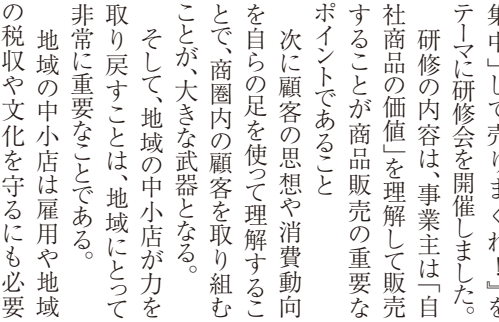
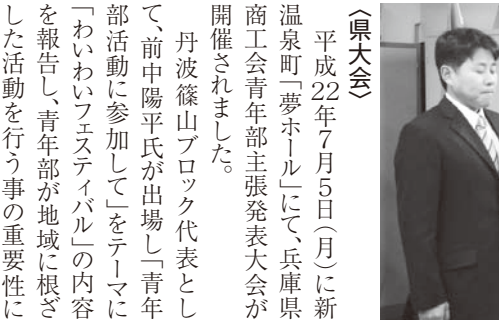
●デカンショ祭 青年部売店出店

暑い。とにかく暑い。今年もやつてきた丹波篠山の熱い祭り。デカンショ祭。
今年もがっつり地域貢献するぞ！とバザー出店した。フライドポテト、揚げイカ、焼きそば、これら、うまい！冷たいジュースである。毎年であるが、人の読みが出来る。どれくらい仕込めばいいか？開催曜日、天候など委員メンバーとすつとんだして決定した数量。発注したらそれまで、売り切らなければいけない。当日、山のようなポテト、から揚げ、モロコイカを入荷。青年部メンバーがおのの着々と準備する。流石商売人である。手馴れたものだ。紙バックを整形、おつりを確認、フライヤーに油を注ぐ、解凍を促す、イカを切るなどなど。懸念であった揚げ物係りが油まみれになるということで、部長の取り計らいでエプロンをつけた。みんな着出し、体感が生きた。支部が1つの青年部になる瞬間である。から揚げ5つ、「いっしょいっしょ」あげたてきで、「元気のいいやり取り」がある。が必死である。売れるとさきに売らなければ商品の残になる。フライヤーの火力はMAXである。
「ドンド」花火の時間がくる。みんな空を見上げ、一体となるときである。しばし休憩。「きれいなー」と、あと2踏ん張り。やぐらの周りで総踊り「さー帰りの土産売り込みやー」ラストバザー。と天気も良く2日続けて完売できた。メンバーみんなの力の結集である。ひとりの青年部になる序章である。
(高橋隆治)



●ソフトボール大会

丹波篠山地区代表として、篠山市商工会青年部チームが出場しました。
第1回戦では、神戸町商工会と好対戦のより見事に勝利しました。
次の第2回戦では、因縁のライバル加東市商工会青年部との戦いに期待が膨らみましたが、気まぐれな天候により試合は中止となり、くじ引きでの勝敗が4対7という結果となりました。
今回のチームは年齢層も若く勢いのあるチームで、結果として、皆が期待し、1勝する毎に勝利の意識も高まり、団結力も強まっていただけに、個々が大変悔しい思いをしました。
結果は思わしくありませんでしたが、他の青年部との交流も深まり、大変有意義な時間が過ごせました。
次年度は、今大会の悔しい気持ち、忘れずに県大会優勝を目指して意気込んでいます。
(内藤大智)

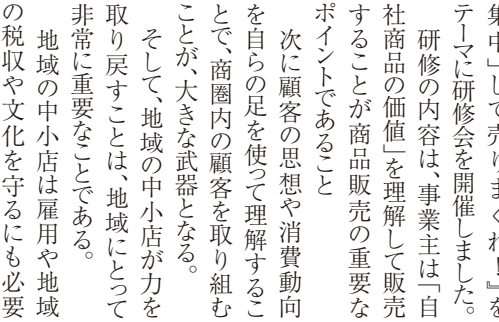


＜第一回全体例会＞

＜第三回全体例会＞

●主張発表大会

丹波篠山地区代表として、篠山市商工会青年部チームが出場しました。
第1回戦では、神戸町商工会と好対戦のより見事に勝利しました。
次の第2回戦では、因縁のライバル加東市商工会青年部との戦いに期待が膨らみましたが、気まぐれな天候により試合は中止となり、くじ引きでの勝敗が4対7という結果となりました。
今回のチームは年齢層も若く勢いのあるチームで、結果として、皆が期待し、1勝する毎に勝利の意識も高まり、団結力も強まっていただけに、個々が大変悔しい思いをしました。
結果は思わしくありませんでしたが、他の青年部との交流も深まり、大変有意義な時間が過ごせました。
次年度は、今大会の悔しい気持ち、忘れずに県大会優勝を目指して意気込んでいます。
(内藤大智)



＜第一回全体例会＞

＜第三回全体例会＞

ついで熱弁を振るいました。
なお、審査の結果「優秀賞」を受賞し県連合会並びに県青年部連合会会長より表彰状並びに、表彰盾が贈呈されました。



＜第一回全体例会＞

＜第三回全体例会＞

●研修会

平成22年11月2日(火)篠山商工会館にてサトウカメラ(株)の佐藤勝人氏を講師に招き「2点集中」で中小店は必ず勝てる！得意な商品サービスに「2点集中」して売りまくれ！をテーマに研修会を開催しました。
研修の内容は、事業主は自社商品の価値を理解して販売することが商品販売の重要なポイントであること
次に顧客の思想や消費動向を自らの足を使って理解すること、商圏内の顧客を取り組むことが、大きな武器となる。
そして、地域の中小店が力を取り戻すことは、地域にとって非常に重要なことである。
地域の中小店は雇用や地域の税収や文化を守るにも必要



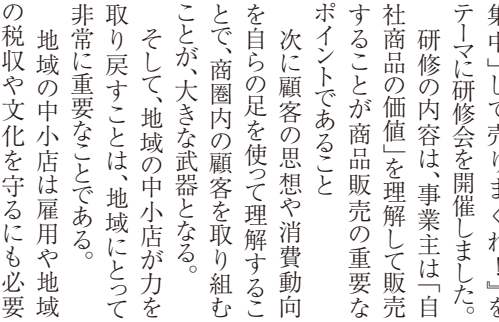
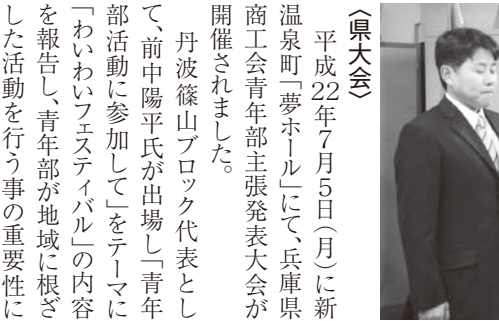
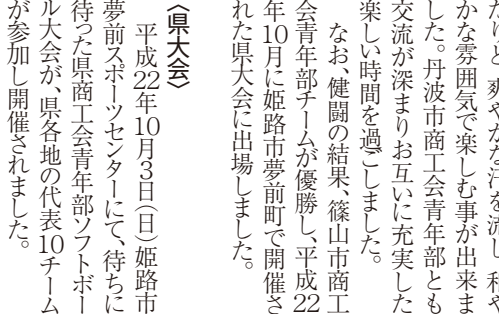
＜第一回全体例会＞

＜第三回全体例会＞

であり、若手経営者がいる中小店は重要な地域資源である等の講和があり、参加した約50名の部員は熱心に受講しました。
今回の研修会を開催したことにより、個々の事業の発展が地域のとても重要である事を再認識するとともに、今後またゆまぬ努力が必要であると思いをしました。

●ソフトボール大会

丹波篠山地区代表として、篠山市商工会青年部チームが出場しました。
第1回戦では、神戸町商工会と好対戦のより見事に勝利しました。
次の第2回戦では、因縁のライバル加東市商工会青年部との戦いに期待が膨らみましたが、気まぐれな天候により試合は中止となり、くじ引きでの勝敗が4対7という結果となりました。
今回のチームは年齢層も若く勢いのあるチームで、結果として、皆が期待し、1勝する毎に勝利の意識も高まり、団結力も強まっていただけに、個々が大変悔しい思いをしました。
結果は思わしくありませんでしたが、他の青年部との交流も深まり、大変有意義な時間が過ごせました。
次年度は、今大会の悔しい気持ち、忘れずに県大会優勝を目指して意気込んでいます。
(内藤大智)



＜第一回全体例会＞

＜第三回全体例会＞

支部活動報告

西紀支部

夏だわいわいフェスティバル ★キッズワールド丹波篠山

★夏だわいわいフェスティバルキッズワールド丹波篠山
開催日/平成22年7月27日 場所/ハイマート佐仲

平成22年7月27日 ハイマート佐仲(小坂)にて、市内小学生を対象とした職業体験イベント「夏だわいわいフェスティバル★キッズワールド丹波篠山」を開催しました。

このイベントは子ども達に、仕事の厳しさや、楽しさに触れながら、地元の産業を知って貰おうと2年前から取り組んでいるものです。

農業や陶芸家など、10種類の職業ブースの中から子ども達は、思い思いの職業を選び、与えられた【仕事】に励みました。

自動車整備ブースで、本物の自動車のタイヤを4人がかりで脱着する女の子や、黄色いブカブカのヘルメットを着て、土木作業ブースの転圧機を操縦する男の子達。ハラハラしながら見守る講師役の部員も、働く子ども達も、皆「真剣」そのものでした。

中でも、建築業ブースの「ミニチュアハウス製作」は、高さ1.8メートル、広さ6平米の小屋を、本職ながらの施工方法で建築するという大掛かりなもの。実際に棟が上がり、屋根が乗った瞬間、会場は大きな歓声に包まれました。

記録的な猛暑の中、集まってくれた児童145名と、イベント運営を手伝ってくれた中学生30名。暑さも忘れるほど楽しい一日でした。

田中 賢治

今田支部

陶と灯の夏まつり 陶器まつり

★陶と灯の夏まつり 開催日/平成22年8月13日 場所/ぬくもりの郷
★陶器まつり 開催日/平成22年10月16,17日 場所/陶器市会場

今田支部の平成22年度事業は、夏に行われた「陶と灯の夏まつり」と秋の「陶器まつり」を中心に活動しました。

2年目となる「陶と灯の夏まつり」は、今田まちづくり協議会・今田青少年健全育成推進協議会と連携。また、こんだ業師温泉ぬくもりの郷・丹波立杭陶磁器組合・各支部のご協力を頂きながら今田町民が一体となった夏まつりを開催致しました。当日は予想をはるかに上回る(1,000人以上)お客様にお集まりいただきました。各種ステージイベントに加え、夜店・丹波焼陶灯・丹波焼風鈴が会場の雰囲気演出。フィナーレには夏の夜空を大輪の花火が咲き乱れ、夏まつりは大成功を収める事が出来ました。これも各団体がひとつにまとまった結果だと思います。各関係者様に厚く御礼を申し上げます。

秋には恒例の「陶器まつり」が開催されました。今年も名物の焼餅とつきたて餅を使った黒豆入りぜんざいを販売させていただきました。事前作業から部員みんなで取り組み、大変ではありますがやりがいがありました。2日間共晴天に恵まれ、たくさんのお客様にお越しいただきました。誠にありがとうございました。

事業を行っていく中で、様々な出会い・経験を重ね、たくさんの勉強をさせていただき感謝しております。我々、今田支部は部員数減少と言う難題を抱えておりますが、商工会事業を通して部員間の結束を深め、今後もより一層の努力をして地域の振興・発展に努めてまいりたいと思います。

後藤 淳史

篠山支部

黄金市・第58回デカンショ祭 第8回いのしし祭

★黄金市 開催日/平成22年5月3日 場所/三の丸広場
★デカンショ祭 開催日/平成22年8月15-16日 場所/篠山城跡周辺
★いのしし祭 開催日/平成23年1月29日 場所/篠山城跡周辺

本年度は、平成22年5月3日に三の丸広場において、昨年度は充電しておりました「黄金市」というフリーマーケットを開催しました。

当日は古着、雑貨、骨董品など43のブースが出店し、来場者数も約3000人と、初夏の好天に恵まれ大盛況となりました。

また、平成22年8月15日・16日真夏の篠山城跡周辺にて「第58回丹波篠山デカンショ祭」を開催しました。

三の丸広場の巨大木造ヤグラを中心に「踊りの祭典」にふさわしく競演会、Jr競演会、総踊りと2日間にわたり、大変盛り上がりしました。

また、夜空を演出する、打ち上げ花火にも来場者から感嘆の声が上がり、心に「夏のページェント」をつづりました。

そして、平成23年1月29日には「第8回いのしし祭」を開催しました。

篠山のド真ん中をいのしが走る「ドドいのしし猛レース」「丹波ーガー」「いのししの丸焼き」「丹波篠山冬の太拙選会」また、食会場での市内各店の出店により、「雪の多い冬」を暖める1日でした。

今年度も皆様のご協力ご支援により、充実した活動が出来た事を心より厚く御礼申し上げます。

石田 智志

丹南支部

ドカンっと一発感謝祭

★感謝祭 開催日/平成22年11月13日 場所/味間奥(茶の里会館周辺)

今年で3回目となった「秋の花火大会」を今年は「感謝祭」と位置付け、丹南地区の皆様への日頃のご愛好への感謝のキモチを込めてイベントを開催させて頂きました。

今回は、「子どもの笑顔」をテーマに縁日や魚釣りの新企画も取り入れ、花火でフィナーレを演出し、地域の皆様が家族で楽しめるイベントにしようと部員みんなで協議を重ねました。

「真剣に考えた。」とは言うものの開催当日までは、「実際にお客さんが来てくれるのか?」「子ども達が楽しんでくれるのだろうか?」ととても不安でした。しかし、イベントが始まり、多くのお客様に会場頂く様子や、縁日や魚釣りにたくさんの子どもの笑顔を目にする度に不安感は薄れ、フィナーレの花火が

終わった後の来場者からの「アンコール」の声を聞いた時には「自信」に変わり、私たちの予想を超えて大盛況に終える事ができました。

何よりこのイベントを通じて来場者と共に青年部員が楽しめ、部員個々からは「地域の方々と会話ができた。」や「子ども達と楽しく触れ合えた。」などコミュニケーションが図れたという声が多く上がりました。

大きなイベントではありませんが、アットホームなイベントの長所を残しつつ、来年も「感謝のキモチ」が伝えられる方法を部員全員で検討し、バージョンアップをして開催したいと考えております。

最後に、このイベントを昨年以上のものにするために、青年部丹南支部では茶まつり、味覚・商工まつりにおいての出店内容を見直し、「特製おでん」を販売した結果、収益性を高め、来場者に昨年以上の感動を伝える事ができたと実感しております。

当日会場に来て頂いた方、会場を提供頂いた味間奥自治会の皆様、ご協賛頂きました企業の皆様、消防団の皆様、さらに各地のイベント出店の際「特製おでん」をご購入頂いた皆様に篠山市商工会青年部丹南支部一同、大変感謝しております。「ありがとうございました。」

稲山 重之